



コストパフォーマンスバーコードラベルプリンター

Cognitive

AdvantageDLX

アドバンテージ DLX ラベルプリンター

ユーザーズ・ガイド

Preliminary Version



株式会社CJPテクノロジー

105-296-01 Revision A 8/30/2007

105-169-02

Copyright © 2007, ATSH Holdings, Inc.

Cognitive™、Advantage DLX™ は、ATSH Holdings の商標です。Microsoft® および Windows™ は米国 Microsoft Corporation の商標です。その他、本取扱説明書に記載されている製品名、会社名は、各社の登録商標または商標であり、説明もしくは所有者の利益のためのみに使われており、その権利を侵害するものではありません。

本書に記載されているすべての情報は予告なく変更されることがあり、Cognitive による内容の保証を意味するものではありません。本書のいかなる部分も、Cognitive の書面による明示の許可なく、いかなる目的のためであれ、電子的記憶および検索を含むいかなる形態によっても、複製することはできません。本書に記載されているすべてのプログラムは Cognitive の所有物であり、著作権で保護されており、保証をすることなく提供されるものです。

目次

第 1 章:ご紹介	4
ようこそ	
パッケージの内容	
動作環境	
保存温度	
CJP サポート	
プリンタの特徴の概要.....	5
フロント/リアビュー	
インサイドビュー.....	6
第 2 章:プリンタのインストール	7
アドバンテージ DLX のセットアップ	
電源ケーブルとインターフェースを接続します	
熱転写リボンのロード	8
ローディングメディア.....	10
第 3 章:ソフトウェアのインストール	11
コグニティブ・アドミニストレータのインストールとプリンタドライバのローディング	
コグニティブ・コンパニオン CD を CDROM にセットします	
ウインドーズドライバのインストール	
USB 接続にてプリンタのインストール	
シリアル/パラレル接続でのインストール.....	12
第 4 章:コグニティブ・アドミニストレータ	15
コネクションセッティング	
USB 接続	
シリアル(RS-232C)接続	
イーサネット接続	
シリアル接続パラメタ.....	16
イーサネット接続パラメタ	
プリンタの設定	
印字速度	
No Media Timeout	
デバッグリポートレベル.....	17
AUX Power On	
Enable Automatic reprint	
Media Adjust	
Pitch	
Darkness	
Primary Language	
Thermal Mode	
ラベル位置	18
印字幅	
Auto Recalibration	
Auto Top of Form	

Indexing	18
Label Presentaion	19
To of Form Adjust	
Shift Left	
Fonts and Objects	
Loading Fonts and Objects	
Deleting Fonts and Objects	
プロファイル管理	20
プリンタの現在のプロファイルを入手	
現在のプリンタのプロファイルの保存	
保存プロファイルをプリンタへ適用する	
ファームウェアのアップデート	21
CPL エディター	
第 5 章:アドバンスド DLX の特徴	22
USB A ポート	
USB フラッシュドライブを利用してファームウェアのローディング	
USB フラッシュドライブを利用してプリンタの設定を変更する	
USB フラッシュドライブを利用してフォーマットをロードする	23
第 6 章:クリーニングとメンテナンス	24
プリンタのクリーニング	
プリントヘッドとプラテンゴムの清掃	
クリーニングサブライ	
第 7 章:トラブル・シューティング.....	25

第 1 章:ご紹介

ようこそ

Advantage DLX をお買い上げ頂きありがとうございます。

お客様にはきつとご満足頂ける Cognitive 社製のプリンタであると確信しております。

ユーザーズマニュアルはプリンタのインストール方法、取扱に係るサポート内容が含まれております。

パッケージ内容

Advantage DLX には次のものが同梱されております。

また、ご提供内容により、それ以外のものも同梱されつる場合がございます。

- ・Advantage DLX プリンター
- ・コグニティブ コンパニオン CD-ROM
- ・スタートアップガイド
- ・接続ケーブル(シリアル・パラレル・USB:モデルタイプにより決定されます)
- ・110V-240V スイッチングパワーサプライ
- ・電源コード

動作環境

- ・5°Cから40°C (41°F から 104°F)
- ・20%から 85%,結露なきこと、相対湿度

保存環境

- ・-20°Cから 50°C
- ・5%から95% 結露無き事、相対湿度

CJP サポート — 技術的な CJP サポートについては、C シリーズ技術サポートチーム電話:03-5391-7689 までご連絡ください。

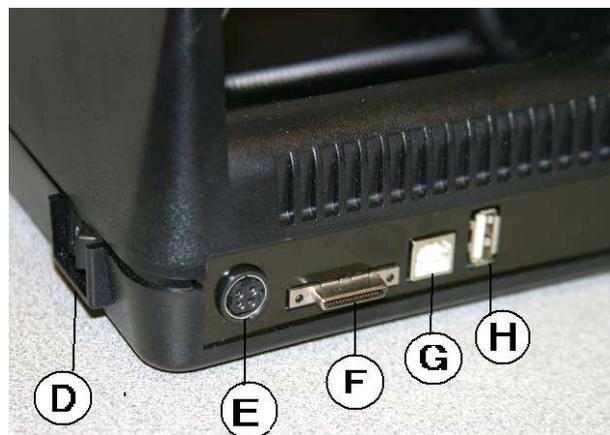
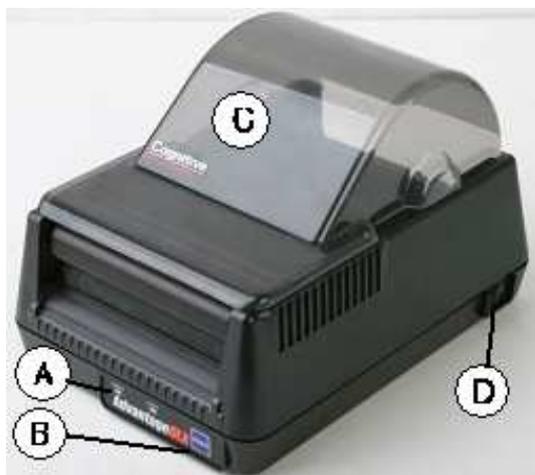
もしくは、電子メールにて barcode@cjp-net.co.jp までご連絡ください。

その他の CJP サポートが必要な場合は、03-5391-7689 までご連絡ください。

プリンタ特徴の概要

すこしお時間を頂き、アドバンテージ DLX プリンタの特徴と命名法について詳しくなってみてください。

フロント/リアビュー



コンポーネント	ファンクション	
A	パワー & レディインジケータ	プリンタステータス表示
B	フィードボタン	メディア排出
C	ダストカバー	メディア保護
D	On/Off スイッチ	プリンタ電源 On/Off
E	パワーコネクタ	オートレンジパワーサプライ入力
F	シリアル/パラレルポート	シリアル & パラレル接続ポート
G	USB B	USB デバイスポート
H	USB A	USB ホストポート

イーサネットポートは掲載しておりません。

インサイドビュー



コンポーネント	ファンクション
A プリントヘッド	印字メカニズム
B TT スピンドル	リボン巻取りスピンドル
C プラテンローラー	フリクションフィード印字面
D プリントヘッドラッチ	プリントヘッドメカラッチ
E メディアトレイ	メディアトレイにラベルロールを置く
F メディアガイド	ラベルロールガイド

第 2 章: プリンタのインストール

アドバンテージ DLX プリンタのセットアップ

電源ケーブルとインターフェースを接続します

重要！ 電源ケーブルとインターフェースを接続する前に、プリンタの電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。

1. 電源ケーブルと AC アダプターに接続します。



2. AC アダプターをプリンタの電源コネクタに接続します。



3. 電源ケーブルプラグを AC アウトレットに挿します。



4. プリンタ背面にインターフェースコネクタを接続する。
シリアルまたはパラレルケーブルは、しっかりとコネクタネジで固定します。



5. 電源スイッチを ON にして電源をテストします。
プリンタのパワーLED が緑(注意 1)に点灯します。

(注意 1) LED が緑に点灯しない場合、ステップ 1-5 を繰り返します。又はトラブルシューティングの 7 章を参照してください。

熱転写リボンのロード

ノート: このステップはサーマルトランスファーモデルのアドバンテージ DLX 用です。プリンタに適合してリボンをご利用ください。

適合リボンはプリンタご購入先または CJP テクノロジーに、電話(03)5391-7689 にて問い合わせください。

1. ダストカバーを上げ、セットするリボンを用意します。



ノート: リボンは裏表をご注意の上、“SUPPLY CORE”と表示のある下側にリボン本体をセットします。“TAKE UP CORE”と表示のある側には、巻取りリボン芯(コア)をセットします。

2. プリントヘッドメカのラッチを外し完全に上側まで持ち上げてください。



3. 正面左側のリボン供給コアにリボンコアの左側をセットします。



4. 次に右側を同様に供給コアにリボンコアをセットします。



5.プリントヘッドを下げます。この時点でラッチを閉じないで下さい。



6.巻取りコアをリボン巻取りスピンドルのノッチに合わせてセットします。



7.リボン巻取りスピンドルの右側をやさしく外側にまげて巻取りコアをセットします。



リマインダー:リボンの使い始めの糊しろ(透明フィルムなど)はヘッド部分に掛からないように巻取りコア側を手で回して事前にリボン(黒など)が手前に来るまで巻き上げておいてください。

8.プリントヘッドラッチを閉じて、電源を ON にしてください。
リボンのたるみが無くなるまで自動的に巻き上がります。



ヘルプフルチップ:DLX シリーズのリボンタイプは、リボンをセットしてラッチを閉じると、余計なりボン(たるみなど)が十分になくなるまで自動的に巻き上がります。

ローディング・メディア

付記: プリンタ指定メディアをご使用ください。メディアの詳細についてはプリンタのご購入元或いは総輸入元である CJP テクノロジー (代表電話: (03)5391-7689) にお問い合わせください。

1. ダストカバーを開ける



2. メディアガイドを右に移動させて、メディアロールをメディアトレイに置きます。



3. メディアトレイの右に寄せたメディアガイドをメディア幅に合わせて左に移動させて固定させます。



4. プリントヘッドメカニズムのラッチを開けます。



5. 印字面 (感熱面) がヘッド面になるようにセットされたメディアをヘッドメカニズムから引き出します。

6. プリントヘッドラッチを完全に固定します。

7. セルフテストを印字します。セルフテストを印字させる為に電源を ON にする間中、FEED ボタンを押し続け印字が開始したら FEED ボタンをリリースします。

付記: セルフテストを実行した後は、プリンタは 16 進ダンプモードになります。電源スイッチを一旦 OFF にして、また電源を ON にすれば通常モードに戻ります。

ヘルプフルティップ: イネーブル・オートマチック・トップ・オブ・フォーム機能を使うとプリントヘッドラッチ固定またはプリンタの電源を ON にした時点で自動的にインデックス (ラベルの開始位置) までラベルが自動的にフィードされます。詳細は 4 章をご参照ください。

第 3 章:ソフトウェアのインストール

コグニティブ・アドミニストレーターのインストールとプリンタ・ドライバのローディング

1.コグニティブ・コンパニオン CD を CDROM ドライブにセットします。

2.**Printer Setup** を選択します。

付記:**Printer Setup** を実行するとコグニティブアドミニストレータとプリンタドライバがインストールされます。

コグニティブ・アドミニストレータ・ユーティリティはアドバンテージ DLX プリンタのアップデート、トラブルシューティングとコンフィグレーションを可能にします。

ウインドーズドライバのインストール

USB 接続にてプリンタのインストール

重要! コグニティブ・アドミニストレータとプリンタドライバはプリンタのインストール前にロードしなければいけません。

3 章の中のコグニティブ・アドミニストレータとプリンタ・ドライバのインストールをご参照ください。

1.USB ケーブル端子をホスト(Windows PC など)に接続して、
新しいハードウェアが検出されウイザードが開始します。

2.いいえ、今回は接続しませんを選択し、次へ進みます



3.リストからインストールまたは特定の場所からを選択して次へ進みます。



4.この場所を探索範囲に含めますを選択して
ブラウザーボタンをクリックします。

5.場所の選択 : C:\Program Files\
Cognitive Solutions Printing Support\
Driver Files を選択して次へをクリックします。

6.続行をクリックします。

7.インストールを完了する為に、完了を
クリックします。



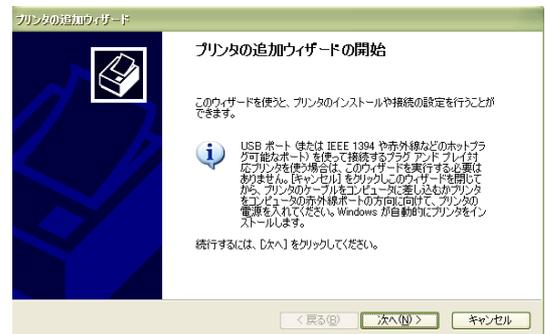
シリアル／パラレル接続でのインストール

重要！ コグニティブ・アドミニストレータとプリンタドライバはプリンタのインストール前にロードしなければいけません。
3章の中のコグニティブ・アドミニストレータとプリンタ・ドライバのインストールをご参照ください

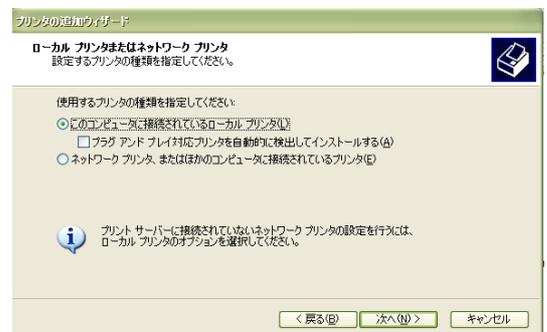
- 1.プリンタ用のシリアルまたはパラレルケーブルをホストシステムに接続します。
- 2.Windows のスタートメニューを選択します。
- 3.プリンタとファックスを選び、プリンタのインストールを選択します。

4. プリンタの追加ウィザードが現れます。

5. 次へを選択します



6. このコンピュータに接続されているローカルプリンタを選択して、次へに進みます。



7. 次のポートを使用を選択:そして、適当なシリアルまたはパラレルポートを選択し、次へ進みます。



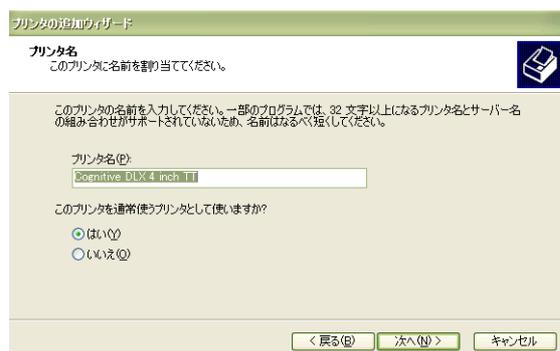
8. インストールしたいプリンタモデルリストから選択して次へ進みます。



9.現在のプリンタを利用する(推奨)を選択して次へ進みます。

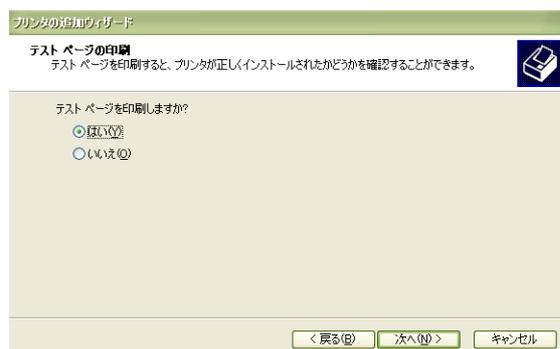


10.プリンタの名前を入力(通常はデフォルトとします) Advantage DLX がデフォルトなら、そのまま次へをクリックします。

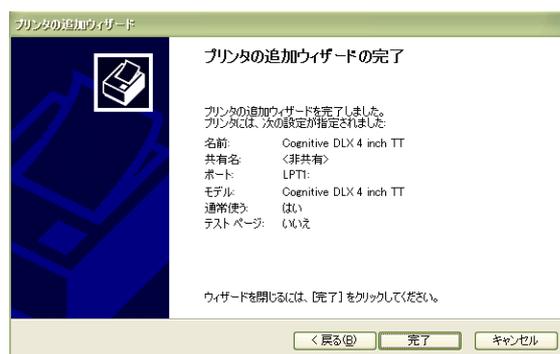


11.プリンタを共有にしないを選択して次へ進みます。

12.テストページを印刷しますかと問われた場合はいいえで次へ進んでください。



13.完了を選択し Advanatge DLX プリンタのインストールを終了します。



WindowsXP との互換性を検証するロゴテストに合格していない旨のワーニングが現れた場合にはは続行を選択します。

更に、Disk 上のファイル'xxxxxx.dat'ファイルが必要です と出てきた場合には、参照をクリックして C\Program Files\Cognitive Solutions Printing Support\Driver Files を選択していくと必要なファイル(xxx.dat)が出現します。(ファイルが見つからない場合はプリンタの追加の前にドライバのインストールを行ってください。)

重要! もしもボーレートがホストシステムを DLX プリンタと同じになっていない場合、プリンタは印字しません。DLX のデフォルトボーレートは 9600,N,8,1 です。

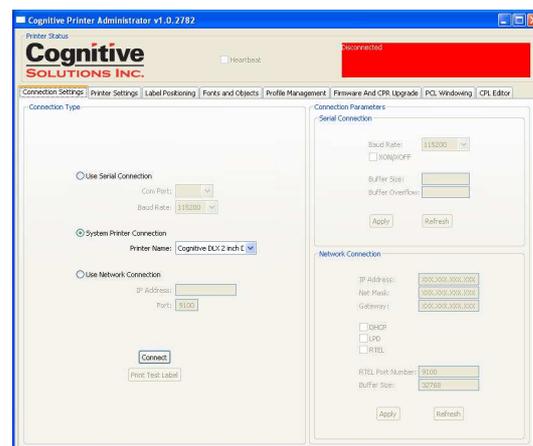
第 4 章:コグニティブ・アドミニストレータ

コグニティブ・アドミニストレータは様々な OS プラットフォームに利用できる Java ベースユーティリティです。アドミニストレータは DLX プリンタのセッティングとプロファイルの管理を可能にします。

コネクション・セッティング USB 接続

1. システムプリンタ接続ラジオダイヤルを選択します。
2. ドロップダウンメニューから適切なプリンタ名を選択します。
3. Connect をクリック

注記: プリンタが正常に接続された時は上部の赤のボックスが緑色画面に変わり CONNECTED が表示されます。



シリアル(RS-232C)接続

1. Use Serial Connection のラジオダイヤルを選択します。
2. プリンタが接続される COM ポートを選択します。
3. プリンタのボーレートを設定します。

注記: Advantage DLX のデフォルトボーレートは 9600 です。

イーサネットで接続

1. Use Network Connection ラジオダイヤルを選択します。
2. プリンタの IP アドレスを入力します。
3. プリンタの RTEL ポート番号を入力します。

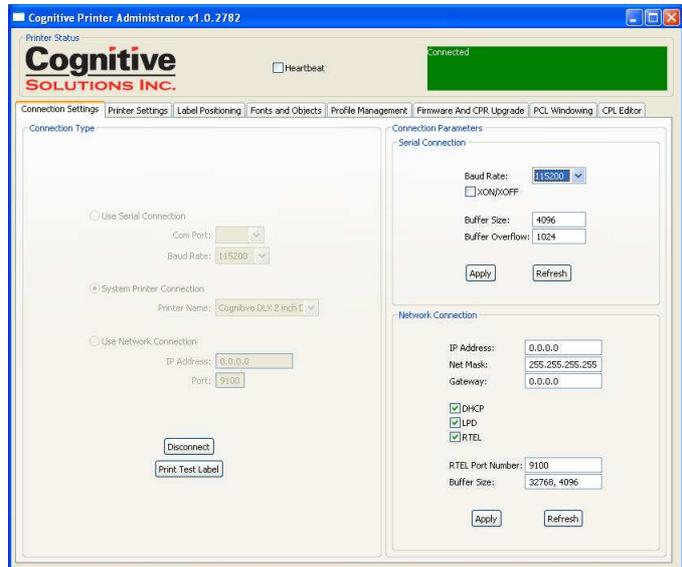
ヘルプフルティップ: プリンタの現状の設定を確認する為にセルフテストを印字します。セルフテストはフィードボタンを押している間に電源スイッチを ON にします。フィードボタンはセルフテストが開始されるまで押し続けます。

シリアル接続パラメタ

- ボーレート
- XON/XOFF
- バッファサイズ
- バッファオーバーフロー

イーサネット接続パラメタ

- IP アドレス
- Net マスク
- ゲートウェイ
- DHCP
- LPD
- RTEL
- RTEL port
- イーサネットテキストバッファ



プリンタ設定

印字速度

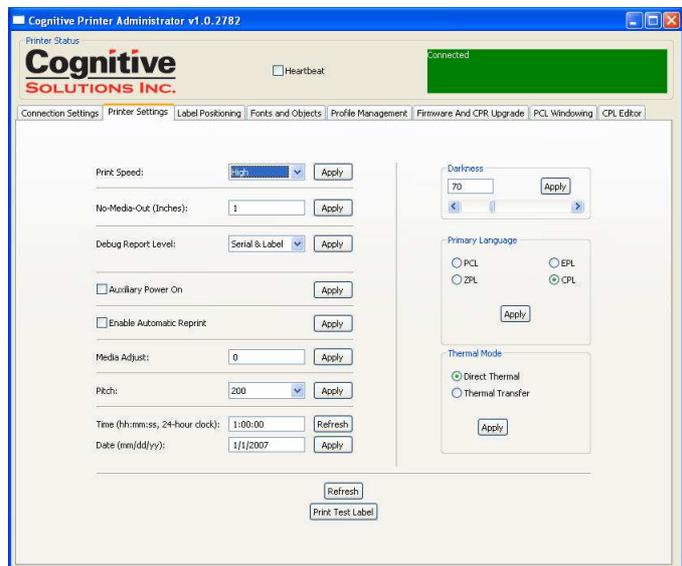
Print Speed 値はプリンタの印字速度を設定します。

- Low = 2 インチ/秒
- Normal = 3 インチ/秒
- High = 5 インチ/秒

No Media Timeout

No Media Timeout 値はエラーを発生する前にインデックス(GAP・BAR など)を検知しないでメディアをフィードする値でインチ単位で表します。

例:もし、No Media Timeout 値を 12 に設定した場合、プリンタはインデックスを無視して 12 インチフィードしてからエラーを発生します。



Debug Report Level デバッグレポートレベル

プリンタのエラーレポート方法を確定します。

設定項(Value)

- **None** = エラーレポートしない
- **Serial** = プリンタはシリアル接続を介してエラーレポートをホストへ返します。
- **Serial & Label** = プリンタはシリアル接続を介してエラーレポートをホストへ返すと同時に印字します。

AUX Power ON

5V シリアル出力を可能にする為に AUX Power On をチェックします。

Enable Automatic reprint

このチェックを ON にすると、プリンタはインデックスを検知して直ぐに同じ内容をもう一枚プリントします。

Media Adjust

印字テキストまたは回転バーコードのリーディングエッジの精細度を調整します。

Media Adjust レンジは 0 から 3 です。

Pitch

ピッチはプリンタの設定 DPI(ドットパーインチ)を表します。

値:

- 100 または 200 が 200DPI プリンタに適用されます。
- 150 または 300 が 300DPI プリンタに適用されます。

Darkness

Darkness 値は印字濃度を調整します。

Darkness レンジ: -200 から 800

記: ファクトリーデフォルト Darkness は 100 です。

Primary Language

プリンタで利用するコマンドランゲージを選択します。Advantage DLX はコグニティブプリンタランゲージ(CPL)がデフォルトランゲージです。コマンドランゲージは CPL, EcPL と ZcPL から選択します。

記: Advantage DLX は TPCL コマンドは現在サポートしていません。

Thermal Mode

使われるメディアのタイプによって、DLX プリンタはサーマルトランスファーまたはダイレクトサーマルを選択します。

重要! サーマルトランスファーモード(Thermal Transfer)はサーマルトランスファープリンタとリボンが必要です。ダイレクトサーマルモードはダイレクトサーマルメディア(感熱紙)が必要です。

ラベル位置

印字幅

Print Width 値はプリンタの最大印字幅を調整します。

レンジは:

- 0.15 から 2.4 インチは 2 インチモデル用
- 0.15 から 4.2 インチは 4 インチモデル用

Auto Recalibration

この項目を Check し Apply すると自動校正機能が ON になり、インデックスが検出できない場合、自動的にキャリブレーション動作に入ります。

Auto Top Of Form

Enable Automatic TOF を Check して Apply すると、この機能を ON になり、プリンタの電源が ON になった時または、プリントヘッドラッチがなされたときに自動的にインデックスを検出動作にはりラベルを排出します。

Indexing

Indexing は利用するメディアのインデックスタイプをプリンタへ指示します。**Indexing On** をチェックした場合、Bar、Gap または Notch スタイルのいずれかをチェックしなければいけません。**Indexing On** のラジオボタンをチェックしない場合は連続紙の使用となります。



Lable Presentation

ラベルプレゼンテーションはラベルにプリンタが印字した後にそのラベルを前方へ引き出します。そして、次のラベルが印字開始される前にそのラベルが引き戻されます。

- **Advance** = プリンタがラベルに印字した後の前進距離
- **Retract** = プリンタがラベルに印字する前にメディアを引き戻す距離
- **Time** = ラベルが引き戻されるまでの時間(秒)

記: 時間設定において、値 0 をセットすると次のラベルが印字されるまで前進状態を保持します。

Top Of Form Adjust

トップオブフォーム(TOF)はプリントヘッドで印字されるラベルの開始位置をセットします。TOF の値を増やす事は印字開始位置が下がることになります。TOF の値を減らすことは印字開始位置を上げるようになります。

Shift Left

Shift left はラベルに対してイメージを左に移動させます。

Fonts and Objects

Fonts and Objects タブはフォントをリストします。Formats と Graphics は現在そのプリンタにストアされているリストです。

Name	Type	Storage	Size	Description
ufontb	Vector font	Flash	5161	uFont Vector Font
ffontb	Vector font	Flash	6164	Font B Vector Font
F3XS	Bitmap font	Flash	849	F3XS
F5X7EX	Bitmap font	Flash	1944	F5X7EX
F8X8EX	Bitmap font	Flash	2220	F8X8EX
F9X12EX	Bitmap font	Flash	4290	F9X12EX
F12X14EX	Bitmap font	Flash	8016	F12X14EX
F18X23EX	Bitmap font	Flash	17148	F18X23EX
F24X31EX	Bitmap font	Flash	27060	F24X31EX
v106	Compressed bit...	Flash	10879	6PT CG TRULMW, 858 200DPI
v108	Compressed bit...	Flash	12206	8PT CG TRULMW, 858 200DPI
v110	Compressed bit...	Flash	13786	10PT CG TRULMW, 858 200DPI
v116	Compressed bit...	Flash	18693	12PT CG TRULMW, 858 200DPI
v124	Compressed bit...	Flash	24407	14PT CG TRULMW, 858 200DPI
v136	Compressed bit...	Flash	33235	16PT CG TRULMW, 858 200DPI
v148	Compressed bit...	Flash	40756	18PT CG TRULMW, 858 200DPI

Loading Fonts and Objects

1. Fonts /Object タブを選択
2. Load Objects to Printer ボタンをクリック
3. ストアーするフォントまたは Object を選択し OK をクリックする

Deleting Fonts and Objects

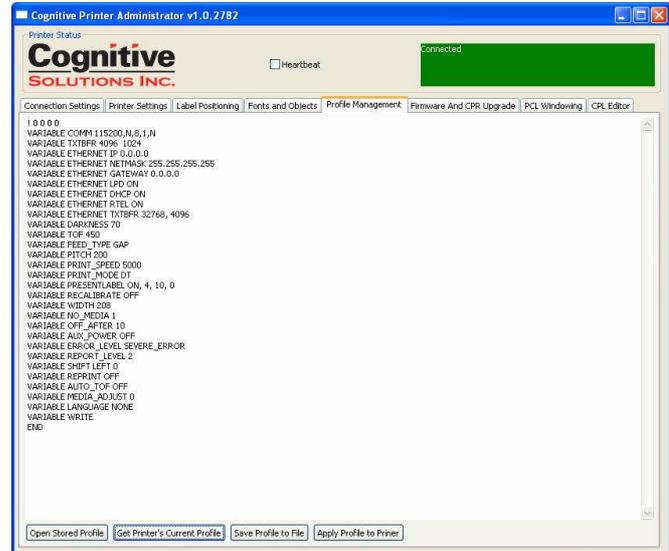
1. Fonts and Objects タブを選択します。
2. 削除するフォント、オブジェクト、グラフィックをハイライトします。
3. Delete Selected Objects ボタンをクリックします。

プロフィール管理

Cognitive Administrator の Profile Management セクションを使って Advantage DLX のセッティングを管理します。
Profile Management はプリンタの現在のバリアブル設定をリストで表示します。

プリンタの現在のプロフィールを入手

1. Cognitive Administrator の **Profile Management** タブを選択します。
2. **Get Printer's Current Profile** ボタンをクリックします。



現在のプリンタの Profile の保存

1. Cognitive Administrator の **Profile Management** タブを選択します。
2. **Get Printer's Current Profile** ボタンをクリックします。
3. **Save Profile to File** ボタンをクリックします。

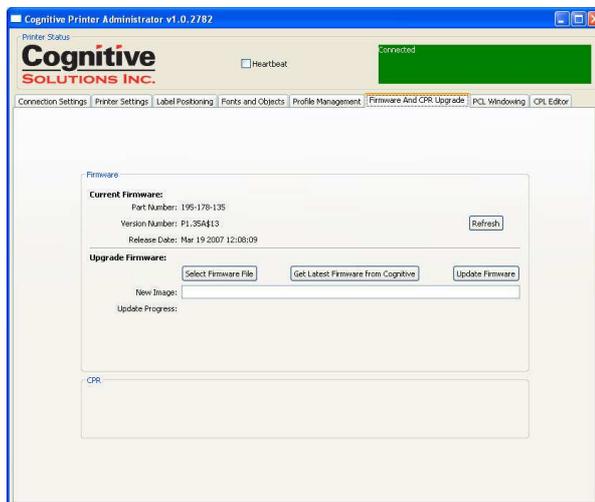
保存プロフィールをプリンタへ適用する

1. Cognitive Administrator の **Profile Management** タブを選択します。
2. **Open Stored Profile** ボタンをクリックします。
3. 要求される **Stored Profile** を選択して **OK** をクリックします。
4. **Apply Profile to Printer** ボタンをクリックします。

ファームウェアのアップデート

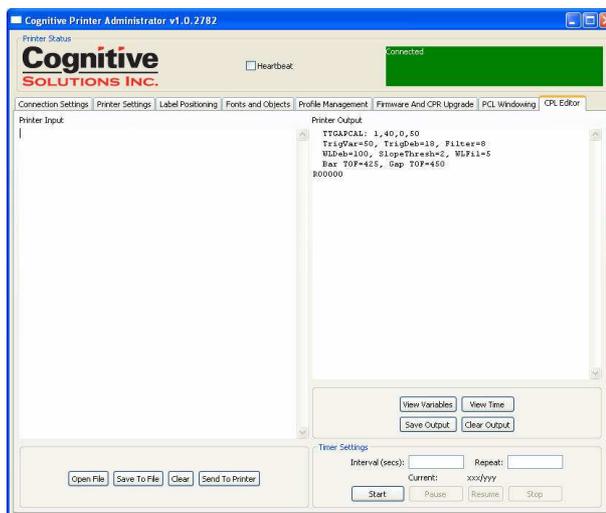
1. Firmware and CPR Upgrade タブを選択します。
2. Firmware File ボタンを選択しクリックします。
3. 上書きする適切な Firmware ファイルを選択してクリックします。
4. Updated Firmware ボタンをクリックします。

警告！ファームウェアをインストール中にプリンタの電源を OFF にすると重大な欠陥が生じることがあります。



CPL Editor

Cognitive Administrator の CPL (Cognitive Printer Language) Editor を使うとプリンタへ CPL を送る事が出来ます。(ASCII のみ)
CPL のプログラミングの詳細は Cognitive Companion CD にある CPL Programmers guide を参照ください。



第 5 章:アドバンスド DLX の特徴

USB A ポート

USB フラッシュドライブを利用してファームウェアのローディング

1. USB フラッシュドライブの Root レベルに **Cognitive** のフォルダーを作る
2. 更に 1.の **Cognitive** フォルダの中に **Firmware** フォルダを作ります。
3. 2.の Firmware フォルダの中に必要な firmware revision を書き込みます。

重要！ USB フラッシュを利用する場合、プリンタは新しいファームウェアへのアップグレードだけをおこないます。

4. プリンタの電源を ON にします。そして POWER と READY ランプが緑であることを確認します。
5. USB フラッシュドライブをプリンタの背面の USB A ポートに差し込みます。
Firmware をインストール中は READY ランプが赤に点灯します。
6. READY ランプが緑に安定した状態になったならば、プリンタの電源を OFF にして USB フラッシュドライブを抜き取ります。

注意！ ファームウェアをロード中に USB フラッシュドライブを抜き取ると重大な欠陥をプリンタに与える事があります。

USB フラッシュドライブを利用してプリンタの設定を変更する

ノート: USB フラッシュドライブを利用してプリンタのバリアブル設定を変更する為には、Cognitive Programming Language を使用する必要があります。CPL でのプログラムについては CPL Programming Guide を参照ください。

1. USB フラッシュドライブのルートレベルに **Cognitive** の名でフォルダを作成する
2. **Cognitive** フォルダの中に **Settings** の名でフォルダを作る
3. **Settings** の名のフォルダの中に必要な設定の CPL テキストファイルを保存する
4. プリンタの電源を ON にして **READY** ライトが緑になっていることを確認します。
5. USB フラッシュドライブを USB A ポートに差込みます。ファイルをロードしている間は **READY** ランプが点滅します。
6. **READY** ライトが緑色点灯状態が安定した場合、USB フラッシュドライブを抜き取ります。

USB フラッシュドライブを利用してフォーマットをロードする

1. USB フラッシュドライブのルートレベルに **Cognitive** の名前でフォルダーを作成します。
2. **Cognitive** フォルダの中に **Objects** フォルダを作る
3. 目的の Stored Lable Format または Menue Program を **Objects** フォルダの中に入れる
4. プリンタの電源を **ON** にして、**READY** ランプが緑点灯していることを確認します。
5. プリンタ背面の USB-A ポートに USB フラッシュドライブを差込みます。Objects を自動インストールしはじめると正面の **READY** ランプが赤色点滅します。
6. **READY** ランプが緑色点灯状態が安定した場合、プリンタの電源を **OFF** にして USB フラッシュメモリーを取り外します。

ヘルプチップ: プリンタは objects ファイルをアルファベット順にロードします。メニュープログラムとストアードフォーマットについてはコグニティブプログラミングマニュアル(英文)を参照ください。

第 6 章: クリーニングとメンテナンス

プリントヘッドのパフォーマンスを最大限にする為に、プリントヘッドを 5,000 インチ毎にクリーニングすることをお奨めします。定期的なメンテナンスはプリンタの性能を維持しプリントヘッドの寿命を延ばし、よって部品交換によるかかる費用を少なくします。

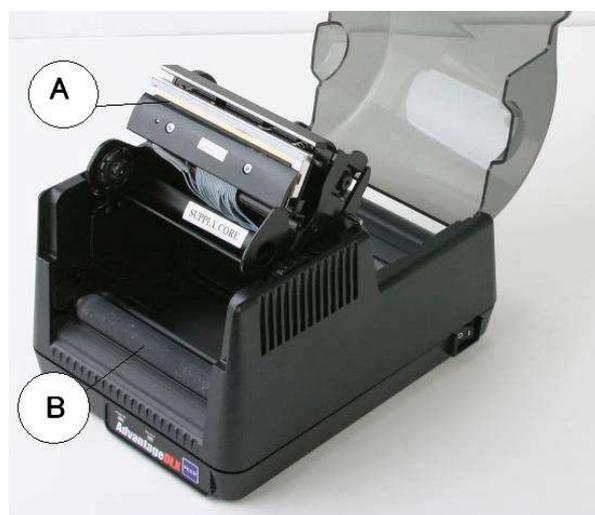
重要! Advantage DLX のクリーニングをする際には電源を外して行ってください。

プリンタのクリーニング

プリンタの外観及びメディアトレイの清掃には糸くずの出ないものを使用し、出来ればマイルド洗剤を使用してください。

プリントヘッドとプラテンゴムの清掃

1. プrintヘッドメカニズムを開きます。
2. プrintヘッド(A)とプラテンゴム(B)を Cognitive 社が認めた 99%イソプロピルアルコールを含んだクリーニングペンなどで丁寧に掃除してください。



警告! 不適切な清掃はプリンターパフォーマンスの低下と保証の適用外になる恐れがあります。Cognitive 社は認定されたクリーニングペンを使ってヘッド清掃をする事を推奨します。

クリーニングサプライ

Advantage DLX クリーニングサプライ			
Parts #	Size (インチ)	入り数	説明
14-00-0000	2.5" x 6"	25	クリーニングカード
14-00-0001	4.5" x 6"	25	クリーニングカード
14-00-0002	none	12	クリーニングペン

第 7 章:トラブル・シューティング

テクニカルサポートにお問い合わせの前に以下の Advanatge DLX プリンタのトラブルシューティングチャートを使って解決を試みてください。以下のチャートを参照してもトラブルが解決しない場合にはテクニカルサポートスタッフ(電話 03-5391-7689)までお問い合わせください:

徴候	推定原因	推奨解決方法
READY の LED が赤で点灯	プリントヘッドがラッチオープン	プリントヘッドのラッチ固定
	メディア・リボンが無い	メディア・リボンの装着交換
	印字が一時停止状態	FEED ボタンを押す
POWER の LED が赤点灯	不適切なパワー電源	適正な電源かどうか確認する
印字が薄い	印字濃度の不適切	Cognitive Administrator を利用して濃度を上げる
	ドライバの濃度が不適切	ドライバの濃度値を上げる
	印字ヘッドの汚れ	印字ヘッドの清掃
白紙が出る	リボン無し	サーマルトランスファーメディアに印字する場合はリボンと装着します。
ラベルが連続してフィードされる	キャリブレーション無し	Cognitive Administrator を利用してプリンタをキャリブレーションする
FEED ボタンが効かない	プリンタはスローされたプログラムを処理しています。	ヘッドのラッチを開けて、電源を切ります。そして電源を入れなおします。その後にラッチを閉じます。
印字位置が適正に出ない	Top of Form の調整が必要です。	Cognitive Administrator を利用して TOF(Top of Form)を調整します。
メディアが印字中にドリフトする	メディアガイドが不適切	メディアガイドが的確に固定されているか確認してください
印字中にラベルスキップする	ラベル設計起因	ラベルの高さの値を少なくしてください。
	キャリブレーション不足	Cognitive Administrator を利用してプリンタをキャリブレーションしてください。